

原発の再稼働、六ヶ所再処理工場の試験再開を阻止しよう！

- ・国内 54 基の原発のうち現在稼働中は 2 基のみ。このままいけば、5 月上旬には稼働ゼロとなります。ここまで再稼働を許さなかったのは、おおぜいの市民の声、全国の運動の力です。
- ・しかし野田政権は原発再稼働へ向けて躍起です。関電大飯原発 3・4 号機の再稼働へ向けた「政治判断」をこの 3 月中にも行なおうとしています。そして「政府を挙げて地元で説明しご理解を得る」としています。
- ・原発を再稼働しないと夏に大停電が起こる、日本経済に打撃を与える、という脅しに屈せず、稼働ゼロのまま、皆の節電で今夏を乗り切り、「私たちはこのまま脱原発社会へ移行していける」ことを証明しましょう！
- ・六ヶ所再処理工場は今年 1 月、試験再開へ向けて「B系」溶解炉の熱上げを開始。模擬廃液でガラス固化体製造を始めましたが、ノズルの目詰まりでガラスが流れ出なくなったため中断しました。すでに放射能まみれで使用不能となっている「A系」と同様のトラブルであり、構造的欠陥、技術的破綻を露呈しました。
- ・これにより試験再開は早くても 4 月下旬になると報道されています。目標としてきた「10 月完工」はもはや絶望的ですが、それでも尚、日本原燃はこの目標を公式には撤回していません。
- ・昨年 7 月、政府に「エネルギー・環境会議」が設置され、今夏までに、原子力を含めた国の新たなエネルギー政策をまとめることとなっています。その議論の中では、「使用済核燃料を再処理せず直接処分する」選択肢も示され、原子力委員会の小委員会は「直接処分が最も経済的」「高速増殖炉は実用化困難」との見解をまとめました。国の核燃料サイクル政策を転換させるのは今しかない、という局面になっています。

<2012 年度の活動提起>

1、さようなら原発 1000 万人アクションに参加しよう

- ・1000 万人署名を引き続き取り組み(5 月末が次回集約)、1000 万人を達成しよう。
- ・7 月 16 日、さようなら原発 10 万人集会(東京:代々木公園)に参加しよう。

2、“市民のロビー活動”を全国で展開しよう

- ・地元の自治体議員との意見交換の場をもつなど働きかけを強めよう。
脱原発の意見書(請願、陳情)採択、議会決議の採択などを地方議会へ働きかけよう。
- ・国会議員との意見交換の場をもつなど働きかけを強めよう。
地元選出議員の事務所への電話、ファックス、メール、ハガキ作戦を取り組もう。
- ・パブリックコメントを出そう。
総合資源エネルギー調査会基本問題委員会(新しいエネルギー基本計画について)
原子力委員会新大綱策定会議(今後の我が国の原子力政策の在り方について)

3、六ヶ所再処理工場の廃止を実現しよう

- ・国のエネルギー基本計画の策定、六ヶ所再処理工場の完工予定など大きな山場を迎える今秋に、おおぜいで集まって、阻止ネットの集会を開催しよう。

4、生産者と、被災地と連帯しよう

- ・生産者と交流、連帯して、脱原発、核燃料サイクル廃止へ共に進もう。
- ・福島の声に耳を傾け、福島に寄り添っていこう。

5、脱原発・エネルギー政策の転換を目指す他団体、様々な市民グループと情報を共有し、連携して運動を進めていこう